

## 第 4 回検討委員会での意見

### 1 興味を引き出す工夫・情報の充実

- ・利用者が興味を持ちそうな資料を目につきやすい場所に配架するなど、レイアウトを工夫するとよい
- ・利用者が資料を自ら選択できるよう面出しし、定期的に並べ替えるとよい
- ・小中学生や高校生が本のレイアウトを体験できれば、図書館は情報の宝庫という実感も沸き、調べる力を養うことにつながる
- ・練馬区立男女共同参画センターには専門資料が多くある。連携することで、専門情報の充実を図れるのでは
- ・練馬区は専門分野を扱う図書館ではなく、地域情報、子育て情報等が受け取れる身近な図書館であるとよい
- ・医療、子育て等の地域情報は各図書館で発信し、資料は各館が専門を分担して収集してもよい
- ・館の中だけでなく、移動図書館等、館の外に向かったの能動的な働きかけも必要では
- ・子育てひろば、学校、保育園等も活用し、区内全ての家庭に情報を行き渡らせ、継続的な教育的支援が必要
- ・ＩＣタグ等デジタルを活用し、目的とする情報だけでなく、その先につながる様々な情報に出会えるようにしたい
- ・データベースが使えるというのは図書館の魅力の一つ。使い方、どんなことができるのかを発信し有用性を知ってもらうとよい

### 2 誰もがいつでも利用できる

- ・働いている層は、関心があっても忙しくて利用できない人も多い。電子書籍は、働いている層の利用の可能性を広げるチャンス
- ・学校図書館でも電子書籍の導入の検討が必要
- ・本を全て電子書籍にした場合のメリット、デメリット等、未来の図書館をイメージした意見交換もよい
- ・コロナ禍において、ＩＣタグは非接触で貸し借りができ便利
- ・読書バリアフリー法等に則した、ハード、ソフト共に全ての人に向けたサービスが必要
- ・練馬区立男女共同参画センターで借りた本が図書館で返却可能になるとよい
- ・館の中だけでなく、移動図書館等、館の外に向かったの能動的な働きかけも必要では（再掲）
- ・受取窓口として学校図書館を活用する案もあるが、学校図書館としての機能を最優先に考えて、その上で区立図書館としてどう活用するか検討したほうがよいのでは

## 第4回検討委員会での意見

### 3 図書館の特色を磨く

- ・医療、子育て等の地域情報は各図書館で発信し、資料は各館が専門を分担して収集してもよい（再掲）

### 4 図書館を身近に感じてもらう

- ・小中学生や高校生が本のレイアウトを体験できれば、図書館は情報の宝庫という実感も沸き、調べる力を養うことにつながる（再掲）
- ・図書館の運営に市民が参画し、それが継続的に行われていくような管理・運営の仕組みができればよい
- ・図書館のお知らせは、図書館に行かないと分からないものが多い。区報を活用するなど、広報やPR方法を工夫し、講座等の情報をお知らせするとよい

# 第4回検討委員会での意見

## 5 居心地のよい空間を作る